



Japan Display Inc.

2022年度 第3四半期
決算説明資料

2023年2月10日

株式会社 ジャパンディスプレイ



PersonalTech For A Better World



Japan Display Inc.

2022年度第3四半期 業績報告

- 3Q累計期間の売上高は2,080億円（前回予想比59億円下振れ）、営業損失は224億円（同16億円下振れ）
- モバイル分野の売上減少（YoY-277億円）を、車載分野の増加（同+284億円）により挽回。円安効果もあり、売上高は前年同期比ほぼ同水準で着地
- 円安による増収効果はあったものの、販売数量減、部材・エネルギー・輸送費の高騰等により、営業損失は前年同期比123億円悪化
- 3Q累計期間の実績及び厳しい4Qの見通しを踏まえ、通期業績予想を修正（売上高、EBITDA、営業利益、経常利益予想を下方修正、当期純利益は債務免除益の計上見込みを反映し上方修正）
- 本日発表の資本増強と無借金化により、財務基盤を抜本的に改善。成長戦略「METAGROWTH 2026」を加速化し、「世界初、世界一」の独自技術と唯一無二の顧客価値の創出、および飛躍的な収益向上を図る（本日公表の別プレゼンご参照）

モバイル・車載分野の顧客需要減により、売上高～経常損失が予想比下振れ 中国製造子会社株式売却益の計上等により、四半期純利益は上振れ

(億円)	FY22 3Q 累計期間 前回予想	FY22 3Q 累計期間 実績	差異
売上高	2,139	2,080	-59
モバイル/欧米	493	460	-33
モバイル/中国・他	139	143	+4
車載	1,025	996	-29
ノンモバイル	482	481	-1
EBITDA	△ 145	△ 160	-15
営業利益	△ 208	△ 224	-16
経常利益	△ 177	△ 210	-33
四半期純利益	△ 212	△ 174	+38
為替レート（対USD）	137.7	136.5	

差異の主な理由

モバイル/欧米：顧客からの需要の減少
モバイル/中国・他：ほぼ予想どおり
車載：半導体等の部材不足の影響等による顧客からの需要の減少
ノンモバイル：ほぼ予想どおり

売上高の予想比減少に伴う下振れ

為替差益（25億円）

関係会社株式売却益
 事業構造改善費用

	前回予想	今回実績
関係会社株式売却益	—	135億円
事業構造改善費用	—	53億円

継続してコスト削減に取り組み、円安効果を楽しんでも、部材・エネルギー・輸送費等の高騰を補いきれず減益

(億円)	FY21 3Q 累計期間 実績	FY22 3Q 累計期間 実績	増減
売上高	2,095	2,080	-15
モバイル/欧米	579	460	-119
モバイル/中国・他	301	143	-158
車載	712	996	+284
ノンモバイル	503	481	-22
EBITDA	△ 37	△ 160	-123
営業利益	△ 101	△ 224	-123
経常利益	△ 101	△ 210	-109
四半期純利益	△ 63	△ 174	-111
為替レート（対USD）	111.1	136.5	

差異の主な理由

- モバイル/欧米**：液晶需要の減少トレンド継続
- モバイル/中国・他**：スマホ販売減及び顧客の在庫調整による需要の減少
- 車載**：旺盛な需要及び円安効果が、半導体等の部材不足による顧客の生産調整の影響を超過
- ノンモバイル**：VR用を主とする民生機器向け需要の減速

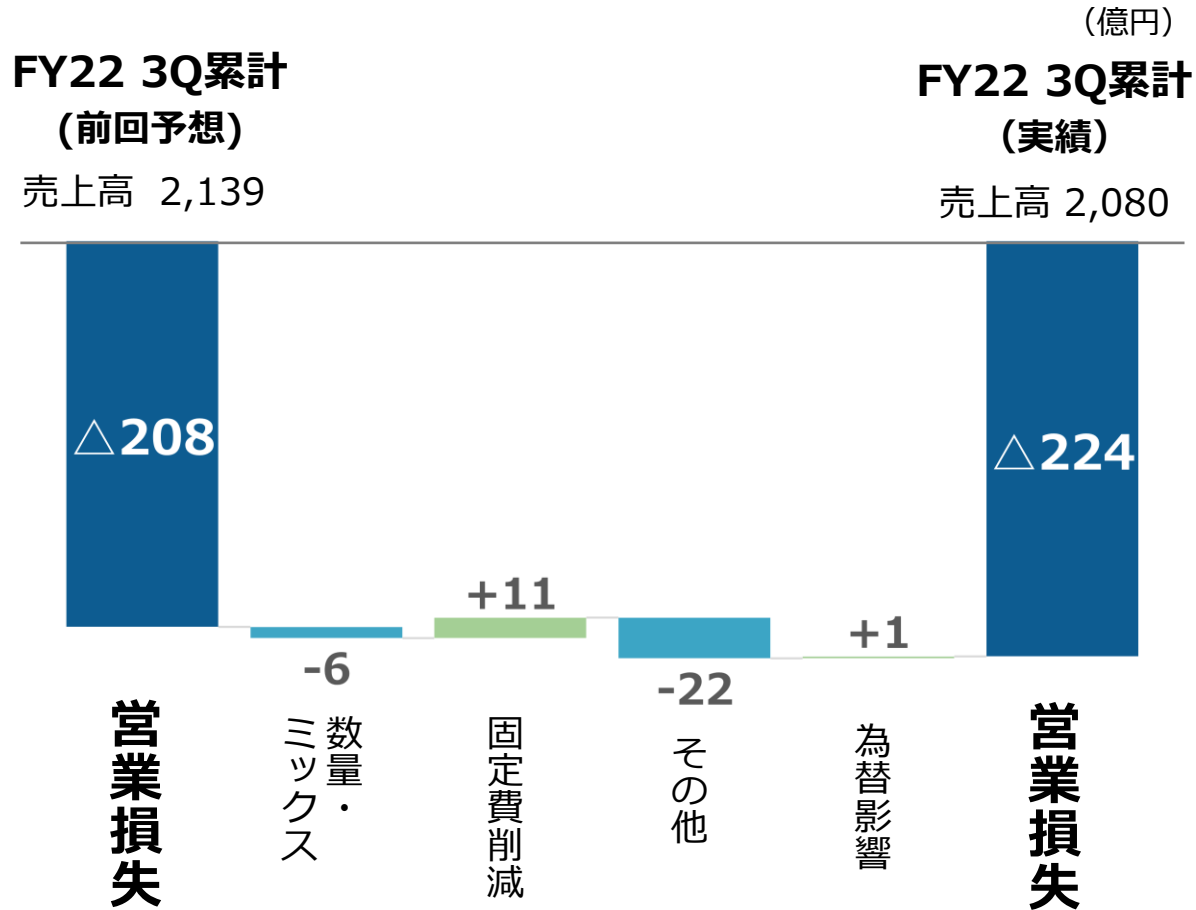
部材・エネルギー・輸送費等の高騰影響

為替差益(ネット額) (19億円増加)

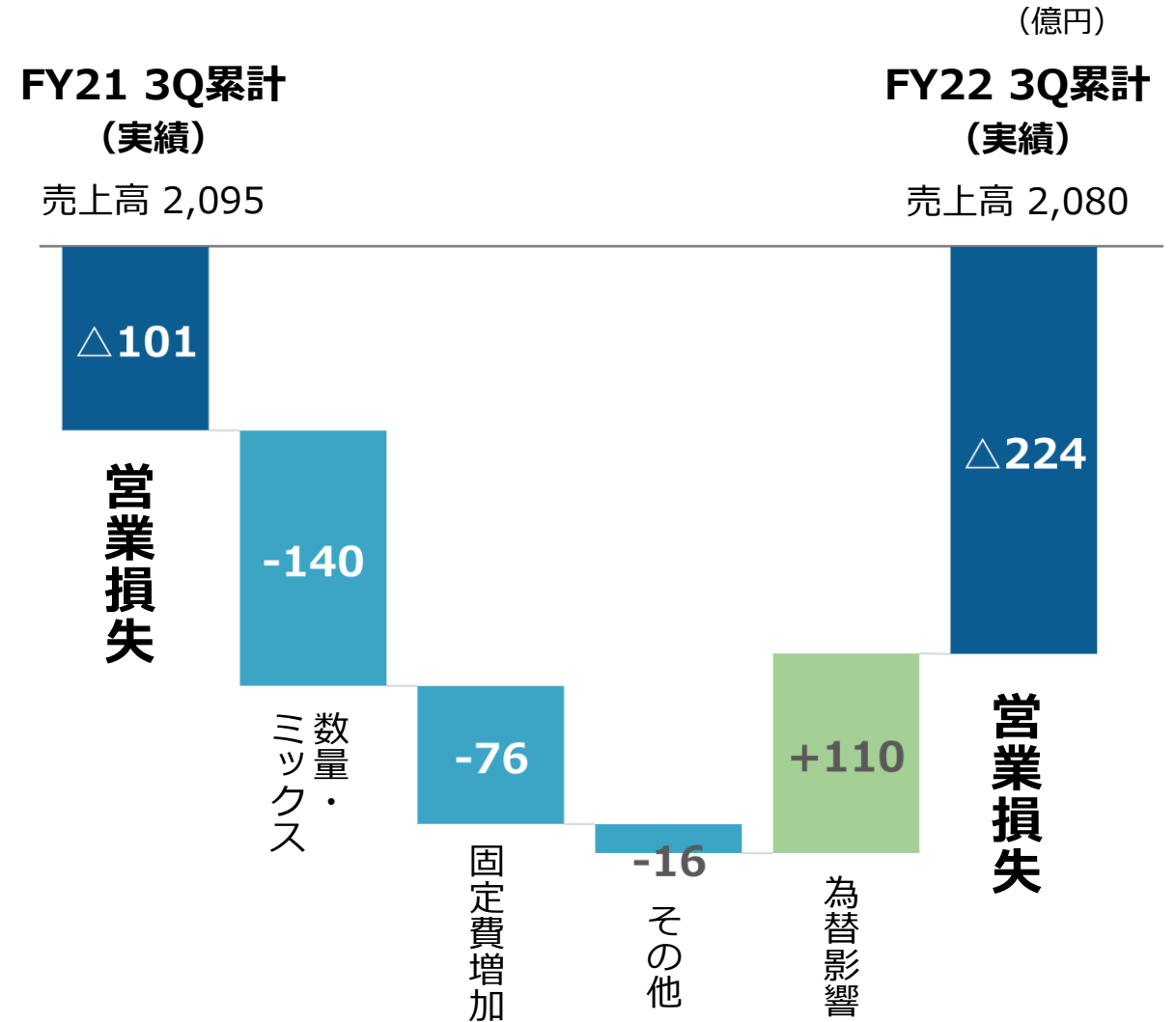
	前期	今期
関係会社株式売却益	54億円	135億円
減損損失	9億円	20億円
事業構造改善費用	—	53億円

FY22 3Q累計期間 営業利益 増減要因

前回予想比



前年同期比



更なる需要減リスク、コスト増の転嫁遅れ、在庫影響、3Q実績等を踏まえ、
売上高～経常損失予想を下方修正。当期純損失予想は、特別利益の計上見込みにより上方修正

(億円)	FY22 3Q累計期間	FY22前回予想		FY22今回予想		通期予想差異 ②-①
		4Q	通期 ①	4Q	通期 ②	
売上高	2,080	661	2,800	580	2,660	-140
モバイル/欧米	460	46	539	129	589	+50
モバイル/中国・他	143	26	165	21	164	-1
車載	996	418	1,444	344	1,340	-104
ノンモバイル	481	171	653	86	567	-86
EBITDA	△ 160	△ 119	△ 264	△ 231	△ 391	-127
営業利益	△ 224	△ 141	△ 349	△ 249	△ 473	-124
経常利益	△ 210	△ 143	△ 320	△ 254	△ 464	-144
当期純利益	△ 174	△ 146	△ 358	△ 145	△ 319	+39

民生機器向け需要の減少や半導体不足に伴う自動車メーカーの生産調整の影響による更なる需要減リスクを反映し、下方修正

売上減、部材・エネルギー・輸送費等上昇分の販売価格への転嫁の遅れ、在庫評価減リスク等を織り込み、下方修正

債務免除益150億円の計上により、当期純損失は上方修正

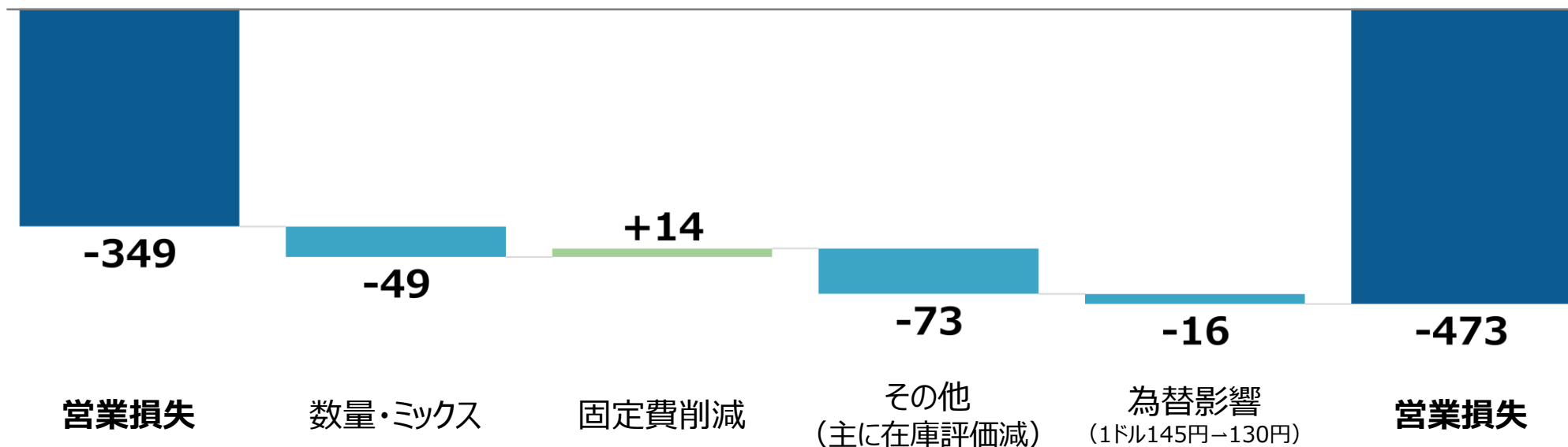
4Q業績予想の前提為替レートは、従来の1ドル = 145円から、1ドル = 130円に変更しています。

前回 (11月10日) 予想比

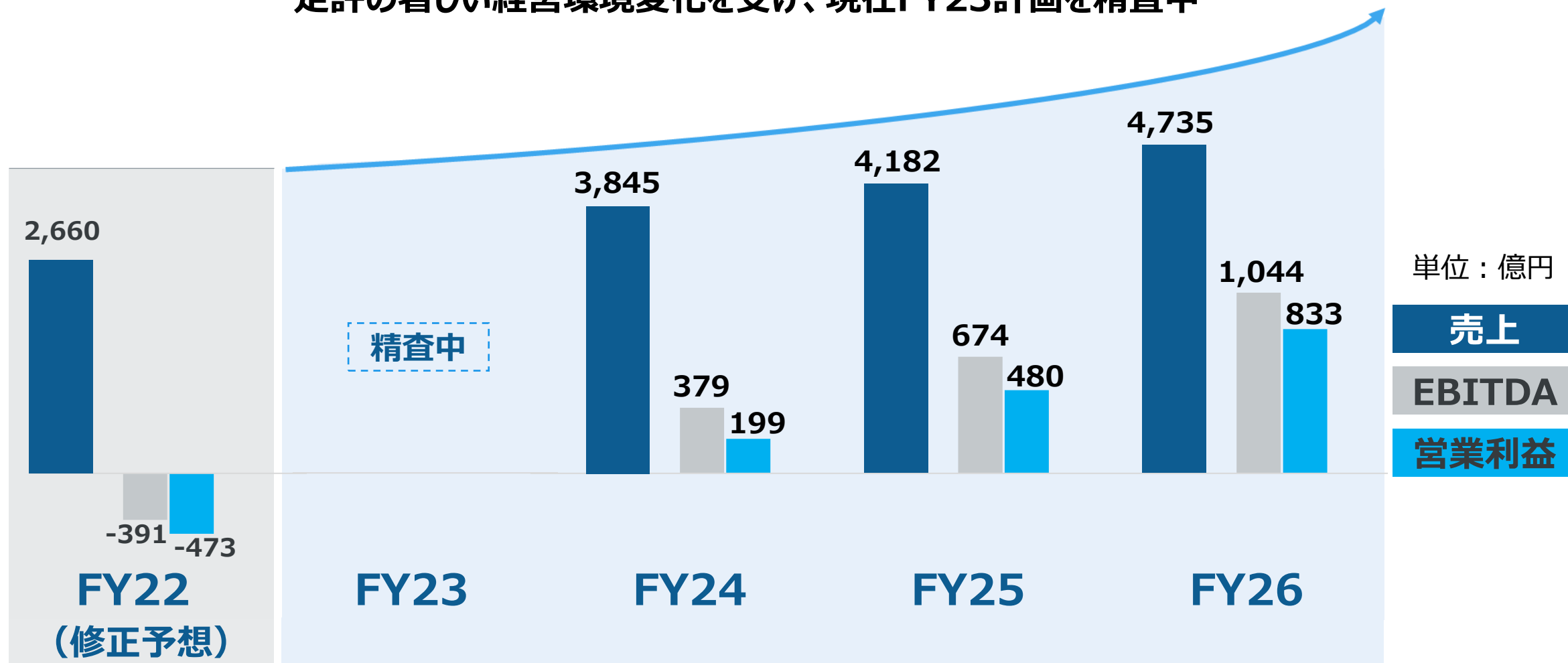
(億円)

FY22 通期
(前回予想)
売上高 2,800

FY22 通期
(今回修正予想)
売上高 2,660



高収益分野と競争優位性にフォーカスし、利益成長を重視
 足許の著しい経営環境変化を受け、現在FY23計画を精査中



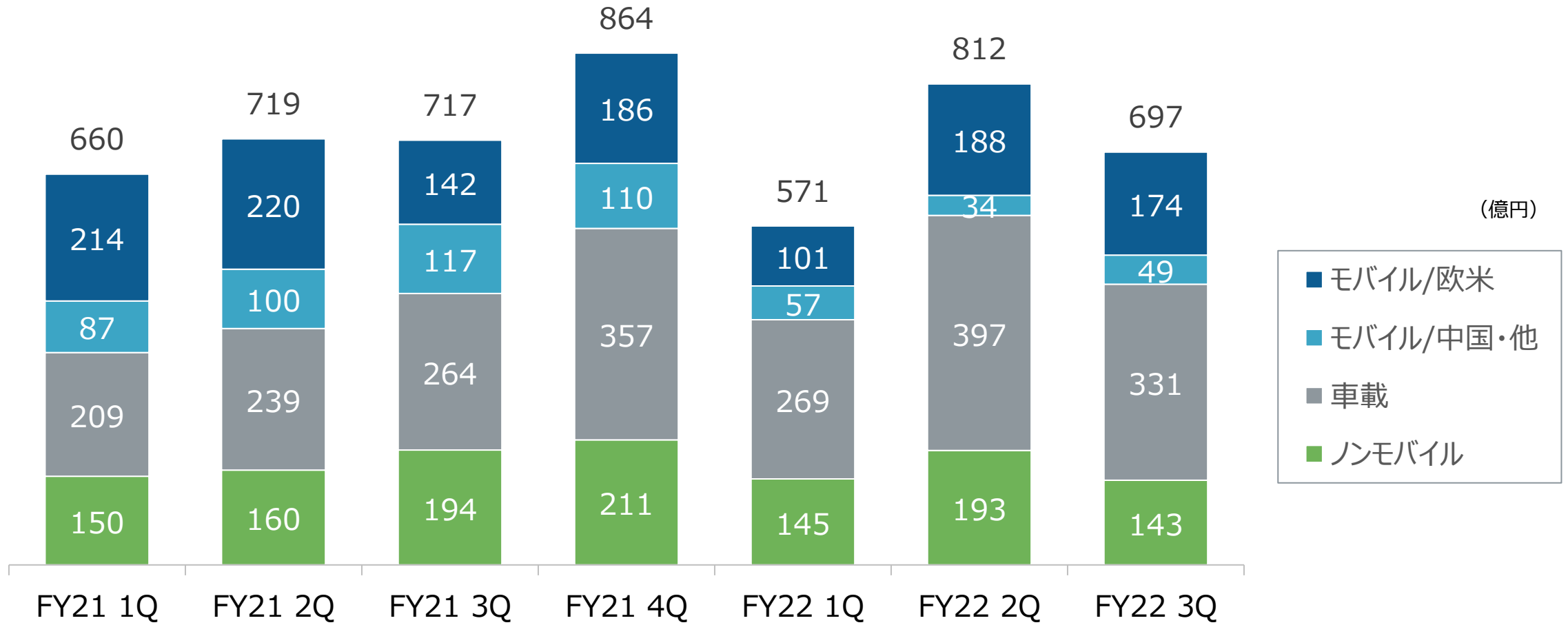
※想定レート(FY24以降): 1ドル120円



Japan Display Inc.

Appendix

分野別四半期売上高推移



連結貸借対照表

(億円)	FY21 3Q末	FY21 期末	FY22 3Q末	前年同期末比	前四半期末比
現金及び預金	578	522	326	-252	-196
売掛金	323	563	384	+62	-179
未収入金	183	235	394	+211	+159
在庫	510	491	722	+212	+232
その他流動資産	50	54	52	+2	-1
流動資産合計	1,644	1,865	1,880	+236	+15
固定資産合計	749	717	731	-18	+14
資産合計	2,393	2,583	2,611	+218	+28
買掛金	494	590	631	+136	+41
有利子負債	749	750	1,031	+282	+282
前受金	53	33	16	-37	-17
その他負債	492	482	478	-14	-4
負債合計	1,789	1,855	2,156	+367	+301
純資産合計	604	728	455	-149	-273
自己資本比率	25.2%	28.2%	17.4%	-7.8ポイント	-10.8ポイント

(注) 貸借対照表の「現金及び預金」の額と、キャッシュフロー計算書「期末現預金残高」の額との差異は、「預け金」です。

(億円)	FY21 3Q	FY22 2Q	FY22 3Q	前年 同期比	前四半 期比
売上高	717	812	697	-19	-115
EBITDA	△ 9	△ 28	△ 85	-76	-57
営業利益	△ 31	△ 49	△ 106	-75	-57
営業外収益	14	18	6	-9	-13
営業外費用 (△)	△ 8	△ 10	△ 25	-17	-15
経常利益	△ 25	△ 41	△ 126	-101	-85
特別利益	58	0	135	+77	+135
特別損失 (△)	△ 4	△ 1	△ 60	-56	-60
税引前四半期純利益	28	△ 42	△ 51	-80	-10
四半期純利益	24	△ 66	△ 58	-82	+8
平均為替レート (円/米ドル)	113.7	138.3	141.4		
期末為替レート (円/米ドル)	115.0	144.8	132.7		

連結キャッシュ・フロー計算書



(億円)	FY22 1Q	FY22 2Q	FY22 3Q	FY21 3Q累計	FY22 3Q累計	前年同期比
税引前四半期純利益	△ 44	△ 42	△ 51	△ 52	△ 137	-85
減価償却費	22	21	21	65	64	+0
運転資金	△ 3	△ 82	△ 36	△ 82	△ 121	-39
前受金	△ 6	9	△ 23	31	△ 19	-51
その他	△ 82	64	△ 145	△ 25	△ 163	-138
営業キャッシュ・フロー	△ 114	△ 29	△ 234	△ 62	△ 376	-314
固定資産の取得による支出	△ 27	△ 31	△ 17	△ 44	△ 75	-30
その他	△ 5	0	△ 36	79	△ 41	-120
投資キャッシュ・フロー	△ 32	△ 31	△ 52	34	△ 116	-150
短期借入金の純増減額	0	130	150	△ 201	280	+481
株式の発行による収入	0	0	0	248	0	-248
その他	△ 1	△ 1	△ 1	△ 8	△ 3	+5
財務キャッシュ・フロー	△ 1	129	149	39	277	+238
期末現預金残高	394	472	322	574	322	-252
フリー・キャッシュ・フロー	△ 141	△ 59	△ 251	△ 111	△ 450	-340

(注) 「フリー・キャッシュ・フロー」は、「営業キャッシュ・フロー」と「固定資産の取得による支出」の合計額です。

モバイル・車載分野の顧客需要減により、売上高、EBITDA、営業損失、経常損失が予想比下振れ。
中国製造子会社株式売却益等の計上により、四半期純利益は上振れ

(億円)	FY22 3Q 会計期間 前回予想	FY22 3Q 会計期間 実績	差異
売上高	756	697	-59
モバイル/欧米	207	174	-33
モバイル/中国・他	45	49	+4
車載	360	331	-29
ノンモバイル	144	143	-1
EBITDA	△ 70	△ 85	-15
営業利益	△ 90	△ 106	-16
経常利益	△ 93	△ 126	-33
四半期純利益	△ 96	△ 58	+38
為替レート（対USD）	145.0	141.4	

差異の主な理由

モバイル/欧米：顧客からの需要の減少
モバイル/中国・他：ほぼ予想どおり
車載：アナログIC不足の影響等による顧客からの需要の減少
ノンモバイル：ほぼ予想どおり

売上高の予想比下振れに伴う下振れ

為替差損(ネット額) (16億円)

	前回予想	今回実績
関係会社株式売却益	—	135億円
事業構造改善費用	—	53億円

コスト削減や価格転嫁に取り組み、円安効果を楽しんでも、部材・エネルギー・輸送費等の高騰を補いきれず減益

(億円)	FY21 3Q 会計期間 実績	FY22 3Q 会計期間 実績	増減
売上高	717	697	-19
モバイル/欧米	142	174	+32
モバイル/中国・他	117	49	-68
車載	264	331	+66
ノンモバイル	194	143	-50
EBITDA	△ 9	△ 85	-76
営業利益	△ 31	△ 106	-75
経常利益	△ 25	△ 126	-101
四半期純利益	24	△ 58	-82
為替レート（対USD）	113.7	141.4	

差異の主な理由

モバイル/欧米：減少トレンドにはあるがシェア拡大及び円安効果により一時的に増加

モバイル/中国・他：スマホ販売減及び顧客の在庫調整による需要の減少

車載：旺盛な需要及び円安効果による増収が、アナログIC不足による顧客の生産調整の影響を超過

ノンモバイル：VR用を主とする民生機器向け需要が減速

部材・エネルギー・輸送費等の高騰影響

為替差損(ネット額)の増加（12億円）

	前期	今期
関係会社株式売却益	54億円	135億円
事業構造改善費用	—	53億円

前年同期比

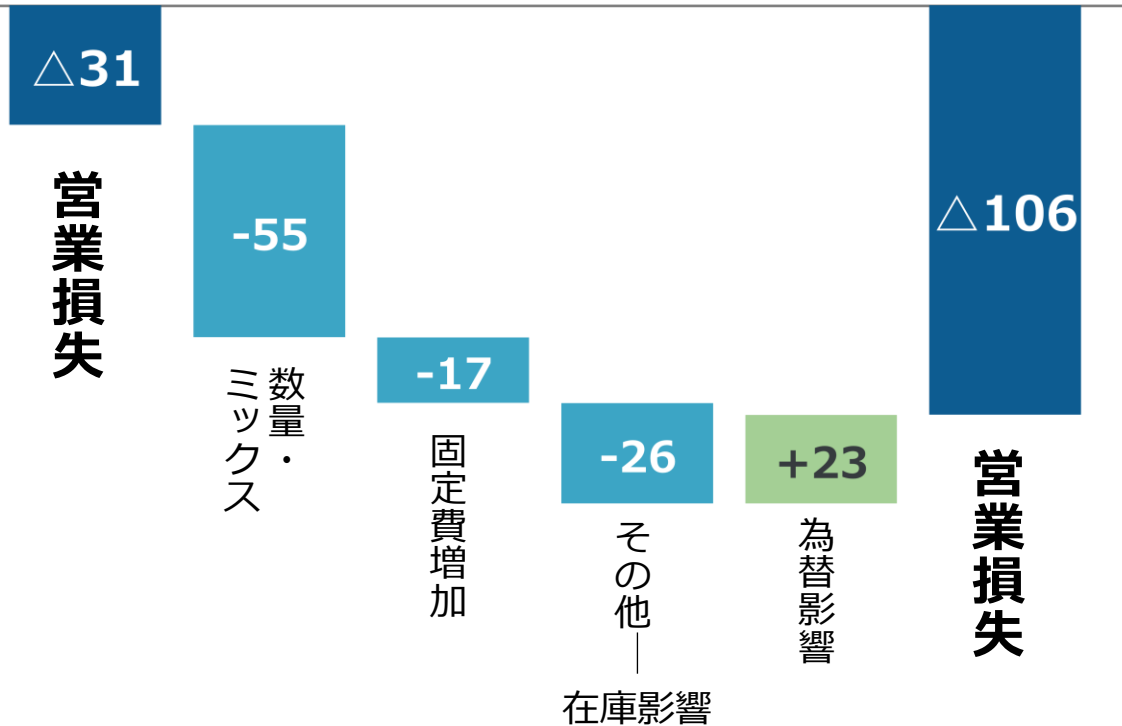
(億円)

FY21 3Q

売上高 717

FY22 3Q

売上高 697



前四半期比

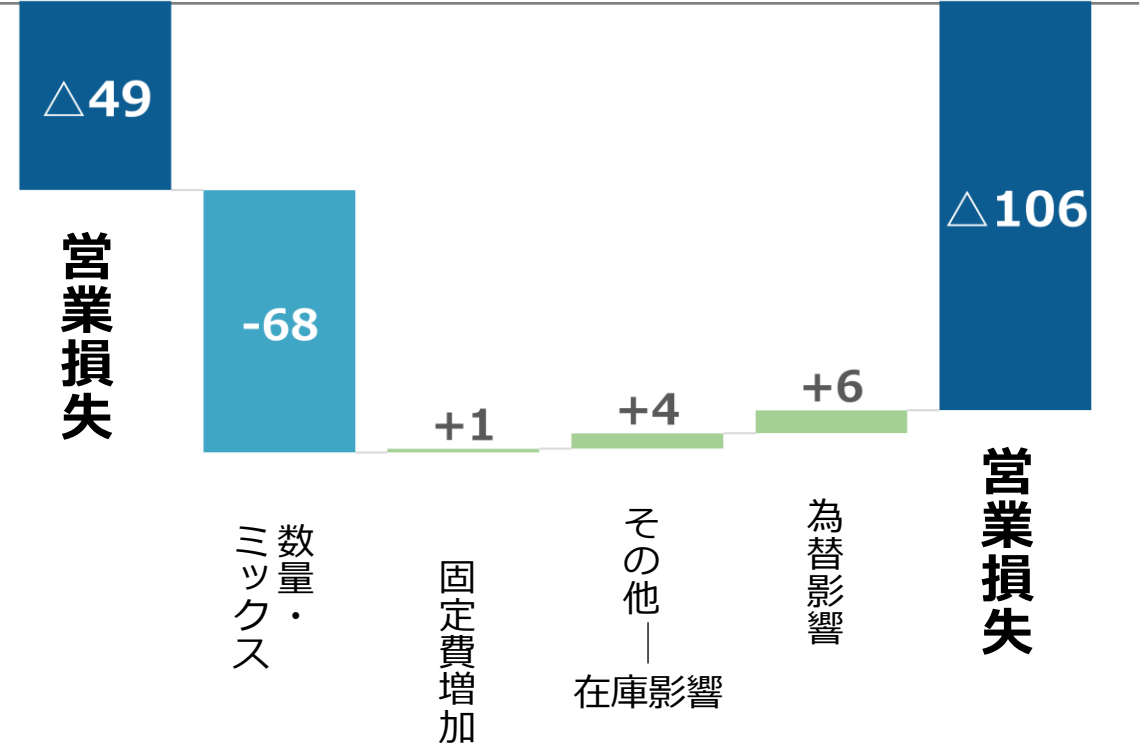
(億円)

FY22 2Q

売上高 812

FY22 3Q

売上高 697





THANK YOU

将来予測及び見通しに関して

本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性および網羅性について保証するものではありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外の個人消費その他の経済情勢、為替動向、スマートフォンその他の電子機器の市場動向、主要取引先の経営方針、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。